



「広小路キャンパス活性化プロジェクト」の開始 及び意見募集等について

令和5年7月28日
京都府立医科大学

京都府立医科大学では、府立医大病院と京都御所の間に位置する“広小路キャンパス”の活性化を図るため、「広小路キャンパス活性化プロジェクト」に取り組むこととしましたので、ぜひ取材していただきますよう、お願いいたします。

【プロジェクト】

- 広小路キャンパスには、附属図書館と看護学学舎があり、学術情報の基盤の地として、京都の医学教育や研究を支えています。医療が高度化する中、優秀な医師、看護師を輩出し続けるため、この7月、大学内に「広小路キャンパス活性化プロジェクトチーム」を発足しました。
- 学生がコミュニケーション能力を養いながら、創造的に勉学に励む空間を整えるなど、教育研究環境をより一層充実させることを目的として、ラーニングコモンズの設置等様々な取り組みを企画、検討、実行します。



【意見募集】

- 学生が優秀な医療人として府域の地域医療を担い続けることを目指し、キャンパスライフが有意義なものとなるような活性化のためのご意見やアイデアを広く募集します。

【電動マイクロモビリティシェアサービスの導入】

- プロジェクトの一環として、学生、本学附属病院を訪れる皆様の利便性の向上を目指し、電動キックボード・電動アシスト自転車のシェアサービスのポートを府立医大広小路キャンパスに設置します。常設ポートの設置は、京都府内の大学としては京都初の取組みです。（8月1日利用開始）



1 プロジェクトに関するご意見、アイデアの応募先

メール library@koto.kpu-m.ac.jp (件名に「広小路プロジェクト」とお願いします)
又は FAX 075-212-5405



2 電動マイクロモビリティシェアサービスの導入(8月1日利用開始)

サービス内容	電動マイクロモビリティ(電動キックボード・電動アシスト自転車)のシェアサービス(株式会社 Luup)の常設ポートを設置(10台分) ※市内約400ポート(全国に約3240ポート) ※スマホひとつで電動キックボードや電動アシスト自転車をシェアできるサービス。街じゅうにポートがあり、好きなポートで借りて、好きなポートで返す仕組み。
設置場所	附属図書館・合同講義棟東入口付近

〈京都府立医科大学広小路キャンパス活性化プロジェクトチーム〉

1 推進体制（令和5年7月新設）

目 的	優秀な医師、看護師、研究者を育成するなど附属図書館、看護学学舎がある広小路キャンパスの活性化を図る取り組みを企画、検討、実行する実働組織
メンバー (合計 16 名)	【リーダー】附属図書館長 【副リーダー】学生部長、看護学科長 【チーム員】医療センター長、研究部長、医学科教授、看護学科教授、附属病院看護部、附属病院医療技術部、教育支援課、経理課、企画広報課、附属図書館

2 想定される主な企画

附属図書館	<ul style="list-style-type: none"> ●ラーニング commons の設置(学生の教育環境の充実) ●学生証 IC カード化による図書館利用証の廃止 ●カフェなどテナントの設置検討 ●電動マイクロモビリティのシェアリングサービスの導入
看護学学舎	<ul style="list-style-type: none"> ●学舎内の LED 化(校舎内の雰囲気向上、節電対策) ●学生証 IC カード化による出席管理システムの構築
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●収入確保対策について ●広報の充実策について ●学生等の憩い、学習できるスペースの創出について ●会員制の大学情報提供制度について

問合せ先

京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp